

### 第1回 TTC 内容報告

#### 【腹話術で聞く被爆体験～平和学習～】

暑さが日ごとに増してまいりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

6月16日(土) 午前10時30分より、千葉県原爆被爆者の会 理事の小谷孝子さんをお迎えして、  
【腹話術で聞く被爆体験～平和学習～】を開催いたしました。

当日は梅雨空の不安定な天候にもかかわらず、世田谷区教育委員会 生涯学習・地域学校連携課 社会教育指導員の村田紀江さん、副校長先生を含め、親子61名(内子ども26名)のたくさんの方がお越しくださいました。

#### ～当日の様子～

「あっちゃん」の呼びかけに、「はい」と明るく登場して下さった小谷さん。小谷さんが人形の「あっちゃん」に語り掛けるという形で講演は始まりました。

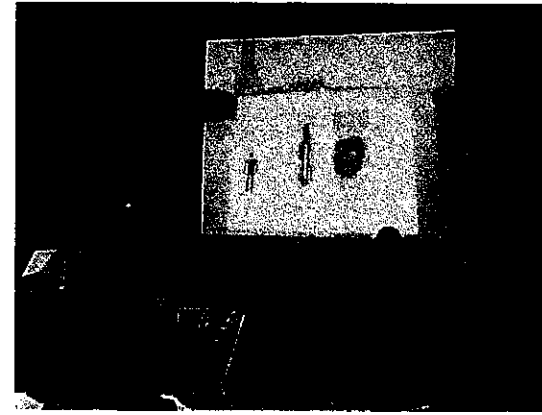


「昭和14年生まれ、現在79歳の小谷さんは、6歳の時に広島で被爆されました。原爆投下時に、建物の下敷きになった小谷さんはかすり傷で助かりましたが、小谷さんのご家族は全身やけどやひどい重傷を負い、3歳だった弟さんはそれから4日後に亡くなりました。」

小谷さんの実体験に基づくお話しを、会場の中には怖いと受け取る方もいらっしゃったかもしれません。しかし、「あっちゃん」がいることで、子どもたちは受け入れやすく、会場の雰囲気もよりソフトなものになりました。

ご自身がかすり傷であったことに後ろめたさを感じ、原爆を語ることのなかった小谷さん。しかし、実のお姉さんや腹話術の師匠からの励ましが、罪悪感を使命感に変え、8年前より「あっちゃん」と共に原爆を語る活動を続けてこられています。

昨年、ノルウェーのオスロで行われた核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN International Campaign to Abolish Nuclear Weapons)の、ノーベル平和賞の受賞を祝うイベントに参加した時の様子も、写真を交えてお話していただきました。



最後に小谷さんは、「幸せとは何でしょうか」と問いかけられました。

「家族がいて、毎朝ご飯を食べ、学校に行くことができるという平凡な毎日がいかに大切か。世界には、まだまだ不幸な国や人々が沢山いるので、争いは絶対に無くして欲しい。」

「広島・長崎の街を訪れた際には、アスファルトの上をそっと歩いてください。この下で、沢山の人が苦しんだのです。」

小谷さんの言葉には大変重みがあり、とても貴重なお話を伺うことができました。

今回の講演を機に、少しでも平和について考える時間を持てただけですと幸いです。

#### ～アンケート結果より～ ※アンケート回答数21名

- ◇ とても感動して涙が止まりませんでした。今ある幸せに感謝をして、生きていることに感謝をして生きていけないといけないと思いました。今日参加してくれた子どもたちの心にも、きっと届いたことでしょう。
- ◇ 子どもたちにもよく分かる内容で、難しいことを伝えていただいたと思います。平和が当たり前の現代に、どのようにして平和を伝えていったらよいのかを考えさせられました。
- ◇ 唯一の被爆国である私たちが過去を語り継ぎ、核の廃棄を訴えていくことが大切であると強く思いました。
- ◇ 戦争というものが、どこか遠い国の話だと思っていました。この素晴らしい機会を得て、今後「唯一の被爆国であること」の意味を深く考えていきたいと思っています。
- ◇ 辛く苦しいご体験を腹話術を通じてサラッと爽やかに語られることで、子どもたちの心にも響いたのではないかと思います。
- ◇ 親の年齢でも、生で戦争体験を聞くことが少なく、大変貴重なお話を伺えて勉強になりました。
- ◇ 私は戦争の話を聞くと、少し胸が痛みました。「この時はこうだったのだな」と思わせてくれました。あっちゃんありがとう。

その他多数の感想をいただきました。

今回の講演にお越しいただいた皆さま、本当にありがとうございました。

#### 【第2回 TTCのご案内】

10月20日(土) ピアニストの伊藤麻子さんを講師にお招きして、

**「ピアノ音楽会 親子で楽しめるピアノコンサート」を開催いたします。**

詳細は、実施日が近くなりましたらお知らせいたします。

お子さまもご参加いただけますので、皆さまの多数のご参加をお待ちしております。